

あわじ荘だより



節分豆まき

鬼は外
福はうち

2月3日(月)の節分の日恒例の節分豆まきを行いました。
突然現れた迫力満点の赤鬼の登場に利用者様方から歓声が上がりました。
鬼に向かって『鬼は外、福は内』と豆をまき、邪気(鬼)を払い、福を呼び込みました。職員一同、今年一年の無病息災を願っております。

「年頭所感」

次長兼総務課長 名倉 直也

2019年5月1日から令和元年が始まり、10月22日に即位の礼が執り行われ、そして年が明け令和2年となりました。今年度は東京で1964年に続き、2回目のオリンピックが開催され、令和2年は日本にとって大きな節目となります。この年は「子年」にあたり、再び新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。ねずみは、すぐに子ねずみが増えて成長することから、子孫繁栄の意味があり、今後世代がうまく引き継がれていき、繁栄に繋がればと思います。

1月に入ってから、感染症が発症し、ご利用者やご家族の方々には大変ご迷惑をおかけしました。地域で流行りつつあるインフルエンザや新型コロナウイルスの動向にも気をつけながら、引き続き、予防と早期の対応に努めてまいります。

あわじ荘は、これからも安全で安心な施設として、快適に過ごしていただけるよう万全を期すとともに、地域から信頼される施設として努めてまいりますので、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

利用者様の 活動記録



『餅つき大会』つきたての餅を
上手にまるめて



『外出でショーと食事』
心もお腹も満足です♪



『外食でしめぶしめぶ』
やっぱり美味しいな



『おはぎ作り』
さあ召し上がれ



『誕生日会』
祝ってくれたみんなに敬礼



『クリスマス歌謡ショー』
懐かしの名曲にうっとり



『敬老祝賀会 長寿のお祝い』



『園芸療法』
正月飾りを作りました



『正月福笑い』
目隠し外して見ると..
私も大きな福笑い



『ふれあいホーム喫茶』
景色を眺めながら
ゆったりとティータイム

ほがらかデイ

あわじ荘認知症対応型通所介護事業所（通称：ほがらかデイサービス）では、利用者様の個々の能力や強みに視点を置き、書道や詩吟、裁縫、踊りなどご本人の得意なことや自信のあることを「強み」として、一人ひとりが主役になれるよう取り組んでいます。

また地域のボランティアの方々のご協力をいただきながら、絵手紙作りや演奏会等、多様な活動を通じ一日の中でたくさんの笑顔や会話が生まれるデイサービスを目指しています。

担当：長谷川



ほがらかカフェ

ほがらかカフェは、認知症の方の介護をしている家族様や地域の方が気軽に立ち寄って話し合える集いの場です。カフェでは介護・医療関係者の方をお招きして福祉用具の種類や服薬の方法などの勉強会を開催したり、専門職による悩みや相談を受け付けています。

今後もほがらかカフェが集いの場として、認知症を支える方の地域の拠点となるよう活動を広げたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしております。

担当：吉田



福祉用具についての勉強会

あわじ荘地域交流セミナーを開催しました

令和元年10月23日に地域の方々を対象とした地域交流セミナーを開催しました。

Motto ひょうご事務局長栗木剛氏を招き、『笑いは最良の薬!! ～笑って元気にいつまでも～』をテーマに講演していただきました。自身の体験談や家庭でもできる体操を行われ、終始、笑い声の絶えない時間となりました。

また、兵庫県社会福祉事業団福祉のまちづくり研究所で開発された Body-KIN® 体験で『身体の衰えのリスクをチェック!!』が行われ、体験された方々からは、「運動不足を解消しなくちゃ」等の言葉が聞かれました。



佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ

令和元年8月24日、スーパーキッズを率いて、淡路島音楽大使に就任された世界的指揮者、佐渡裕氏によるおでかけコンサートが開催されました。圧巻の演奏に普段聴きなれない利用者様や家族様も心を打たれている様でした。



本年度 年間研修計画

あわじ荘では「自由」「やすらぎ」「ふれあい」、あなたらしさを応援します。を運営理念とし、サービスの質の向上に努めています。

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
看取り介護	高齢者虐待防止	食事介助	口腔ケア	高齢者虐待防止	口腔ケア	排泄介助	高齢者虐待防止	認知症の理解	リスクマネジメント	ノーリフトニングケア
	食中毒予防	無断離脱訓練	食事介助	リスクマネジメント	排泄介助	認知症の理解	衣服の更衣介助	入浴介助	苦情相談対応	
	倫理及び法令遵守	契約職員の役割		職員の介護技術評価	感染症予防		ノーリフトニングケア	ノーリフトニングケア		
	正規職員の役割		救命講習	救命講習	避難訓練	褥瘡予防	交通安全		口腔ケア	
							ノーリフトニングケア		ノーリフトニングケア	

北の街では介護浴槽の更新を行いました

「介護浴槽」は専用のストレッチャーを使用する事で、座った姿勢での入浴が難しい利用者様でも仰臥位（寝た姿勢）のまま入浴することができます。利用者様からは、「新しいお風呂はゆっくりとお湯に浸かれる」ととても好評です。



ノーリフトニングケアの取り組み

床走行リフトを導入しました。床走行リフトとは、ベッドから車いすやトイレなどへ移乗するために使用する、床走行式電動介助リフトのことです。あわじ荘では福祉用具の利用、介護技術の向上を図り、『持ち上げない介護』に取り組んでいます。利用者様にかかる負担や、介護者の負担を軽減することにより、安全安心な介護を提供します。



浜坂温泉保養荘



〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
TEL:0796-82-3645

編集後記

新元号の1年目が終わり、令和2年目が始まりました。西暦も2020年となり、今年は2回目の東京オリンピックが開催されます。今年は2という数字に縁があるように感じられます。また、今回のオリンピックは時差がなく観戦できますので、利用者様とテレビの前から応援したいと思います。この文章を作成中、テレビでは新型肺炎のニュースが毎日出ています。皆様も手洗いうがいにご注意して、ご自愛ください。(編集担当:馬部)

発行 / 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団あわじ荘
〒656-1727 兵庫県淡路市野島貴船229-1
TEL 0799-82-1950 FAX 0799-82-1754
E-mail awajisou@silver.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.hwc.or.jp/awaji/>

※写真の掲載については、ご本人の同意を得ております。